

大通防災だより

第20号

冬の火災予防運動 … 暖房器具や調理器具の取り扱いにご注意！

寒くなるこれからの時期 火災の発生が多くなります。

暖房器具の使用や火を使った温かい料理が増える時期だからと思われれます。一方で、年末が近づいて忙しい時期でもあり、ついっかり火の元の始末や、不適切な火の取り扱いで火災が発生することが多いようです。昔から火災はもっとも身近な災害としてさまざまな対策が言われていますが、何より私たち一人一人が強く意識して火災発生防止に取り組むことが大切だと思います。

1、暖房器具の取り扱いに注意

- ストープやファンヒーターの周りに燃えやすいものを置かない。
- 点火、消火を確認する習慣をつける。
- 給油、移動時は必ず消火を確認してから行う。

2、調理器具の取り扱いに注意

- 調理中に火の元から離れない。
- 強火による 衣服等への着火に気をつける。
- 鍋などを火から降ろす時は 消火してから降ろす。
- コンロを使用しないときは ガス等の元栓を閉める。

3、家庭用火災報知機を設置する

- 万が一 火災が発生しても速やかに知らせ、被害を最小限に抑える。
- 複数台を連動するように設置して 家中どこにいてもわかるようにする。



「大通防災だより」は
新潟市「地域活動補助」を
活用して発行しています。



発行
大通地域生活センター内
大通コミュニティ自主防災会
TEL 362-1491

もし たった今大地震が起きたら・・・

いまや いつどこで大地震が起きても不思議ではないと言っても過言ではありません。

大地震が起きた時、最初の行動が生死を分けるほど重要です。日頃からどのように行動したらよいかシュミレーションしておきましょう。例えば・・・

○ リビングにいたら・・・

机の下などは 転倒・落下物などで閉じ込められる恐れがあります。揺れを感じたら座布団やクッションなどで頭を覆い、すぐにドアを開けて玄関などへ移動しましょう。

○ 寝室にいたら・・・

揺れを感じたら、まずドアを開けて玄関までの避難路を確保しましょう。枕元にスリッパや帽子、懐中電灯などを用意しておきましょう。

○ お風呂やトイレにいたら・・・

閉じ込められないようすぐに脱出して、玄関など安全ゾーンへ向かいましょう。洗面器などで頭を守り、衣類やバスタオルを持って移動しましょう。

○ 二階にいたら・・・

無理に移動せず たとえ家が倒壊しても隙間、空間ができやすい二階に留まってもいいかもしれません。二階は一階に比べ重いものが少ないからです。

○ キッチンにいたら・・・

調理中で 火を消せるなら消してから安全な場所へ移動します。最近は大きな揺れを感知するとガスが自動的に止まる自動遮断装置付きのガスコンロが多いようです。

○ もしも閉じ込められたら・・・

大声で叫んでも体力を消耗するだけです。笛などがあれば鳴らしたり、近くにあるものを叩いて音を出し存在を知らせましょう。
(「クロワッサン」2016年特集記事より抜粋、引用)

○ ある自治会では・・・

夜間の地震に備えて 手動式発電懐中電灯(LED使用、AM/FMラジオ搭載、スマホ充電機能付き)を購入して各班に今後配備する予定だそうです。すでに配備済みの自治会もあるとか・・・

○ いずれにしても、地震のゆれを感じたらこすぐにこうした行動がとれるようにシュミレーションと同時に訓練しておくことが大事です。

今年度の活動を中間報告

今年度 自主防災会の各班で取り組んでいる課題についての中間報告会を行いました。

現在保有している防災備品、備蓄品の点検と保管状況の問題点、各自治会における要援護者支援についての提案、水害時の避難経路マップの作成提案などについて これまでの活動報告がされました。いずれも一年限りの課題ではなく 積み重ねが必要なものばかりで、今後も各自治会のご理解、ご協力をいただきながら取り組んでいかなければなりません。今後、防災会スタッフに対する講習会などを実施して、スタッフの皆さんが各自治会で活躍できる人材となれるよう期待いたします。

